

トップランナーたちの『女性活躍』～意識を変革する 10 のメッセージ～

第 2 回 「東京都 女性活躍推進大賞受賞 佐藤製作所 佐藤修哉さんインタビュー」

(Short ver.) <https://youtu.be/pzRePl0GzOg>

**司会 西村明希子さん**：こんにちは司会の西村明希子です。

今回は株式会社佐藤製作所 常務取締役の佐藤修哉さんにお話を伺います。

佐藤さんよろしくお願ひいたします。

**佐藤修哉さん**：よろしくお願ひします。

**西村さん**：佐藤さんは、慶應義塾大学理工学部電子工学部を卒業後、大学院に進学。卒業後は IT 企業にて金融システムのエンジニアを務めた後、2014 年に家業の佐藤製作所に入社。3 代目として会社の改革に取り組んでいらっしゃいます。また、現在 36 歳で 3 歳と 1 歳の男の子の父親としても奮闘していらっしゃるとのこと。

佐藤さんが常務を務めていらっしゃる株式会社佐藤製作所は 1956 年創業の従業員 20 名程の金属加工会社です。特に銀ロウ付け溶接といった手作業による職人の技術を強みとしています。佐藤製作所は令和 3 年度「東京都女性活躍推進大賞」を受賞。そして 7 月には東京商工会議所主催の令和 4 年度「勇気ある経営大賞」の「特別賞」も受賞されています。

**西村さん**：佐藤製作所は創業 65 年で、約 60 年間は男性の新卒採用も行っていなかったとのことですが、2015 年から新卒採用と女性の採用も開始されたとのこと、何か大きなきっかけがあったのでしょうか。

**佐藤さん**：新卒採用と女性の採用と、ダブルで始めようと考えたきっかけですが、まずはこの金属加工の業界では、どの会社にも女性従業員、若い従業員がいないと感じていました。中小企業の工場は現場の仕事のみで回っているわけではなく、事務作業や営業もあります。ホームページの作成や、SNS を利用した会社の PR もありますし、色々な業務があることを考えると、若い女性が出来る業務がたくさんあるわけです。弊社は新卒も女性社員も採用していませんでしたが、同業他社も行っていないのであれば、逆にチャンスなのではないかと考えて思い切って始めました。

**西村さん**：ベテランの方がいらっしゃる中で、反発も多かったのではないのでしょうか。

**佐藤さん**：おっしゃる通りで、はじめの頃は「ふざけるな！」といったような、もっと酷いことも言われました。金属加工の仕事は女性にはできないと。シンプルにできない、向いていないのではなくて「できない」と。何か理由があるわけではありません。

西村さん：女性にはできない、と思われていた。

佐藤さん：はい。そして採用募集も行っていなかった会社ですから、応募が来るわけないだろうと。まとめると「(女性には)できない」「募集しても来ない」…

西村さん：入社しても「辞めてしまう」のではないかということですね。

佐藤さん：だから「そんな無駄なことはするな」と。「意味がない」「周りを見ても、そんなことをやっている会社はないだろう」といった反発…。反発といますか、業界ではそれが常識でしたので、僕の方が間違っているとされて、当初「それいいね」「やってみよう」と思う人は他にいなかったです。ただ、入社した女性社員が仕事を一生懸命真剣に、楽しんでやってくれている姿勢を見るうちに、ベテランたちの見方も変わってきたようです。ですから僕は最初のきっかけだけ作って、その後うまく回してくれたのは、入社して頑張ってくれている社員の日々の仕事の姿勢があったからこそです。

2つ目の「(応募が)来ない」ことに関しては、そもそも僕は来ると思っていました。なぜならば理系の高校や学校にも少数ですが女性もいて、ものづくりや手作業、金属加工が好きな女性も絶対にいると思っていました。そしてそういった子にしっかりとマッチするような求人を出せば、絶対に来てくれると思っていました。そういった「一本釣り」のような求人方法を、中小企業が取れていないから「来ない」と僕は思っていました。飛び込み営業のようなことをたくさんして、学校で会社の説明をさせてもらい、それを聞いて興味持ってくれた方が、インターンシップで応募してくれるなど、地道な採用活動を積み重ねていきました。

西村さん：新卒で入った女性の方のキャリアビジョンと言いますか、「30歳の時はどうなっていたい？」といったことや、「やりがい」や「働きがい」についてはどの様に考えてらっしゃいますか。

佐藤さん：それは今、弊社の課題の1つで、今後整えていかなければならないと考え、着手しはじめたところです。僕は好きなことをやるのが一番良いと思っています。ただ何が好きかということも、やってみなければ分からないところがあります。若いうちに色々な業務を経験することで好きな業務を見つけてもらい、そしてその能力伸ばしてもらいたいと思っています。また他の業務を経験することで平均的にレベルが上がっていくことも目指しています。

今後は、例えば弊社は海外販売などを行っていませんが、海外事業部をつくることや、SNSのライブ配信を行うことも考えられます。女性でしたらそういった場面でも活躍できるかなと思いますし、今はまだない仕事を自分で作ることも出来るかもしれません。会社を使っ

てやりたいことやってほしいと思っています。この会社でやってみたいと、社員がアイデアを出してくれるような会社にしていききたいなと思っています。

**西村さん：**最後に女性活躍に取り組む企業の皆さんに、佐藤さんから熱いメッセージをお願いします。

**佐藤さん：**女性はとても仕事ができると思いますし、マッチする方がいたら、会社のレベルが1レベル2レベル上がる程、強力な戦力になるということは間違いないと思いますが、やはりしっかりとマッチングを行うことが一番重要だと思っています。「会社側が求めている人」と、「応募者が求めている会社」がマッチするかどうかということが重要だと思いますので、会社側はそういった欲しい人材にマッチするような会社になっておくということも大事です。そこをまずしっかりと考えて、会社のベースを作った上で行動に移すということが重要なと思います。男性メインの職場に女性を加わると会社のがらりと変わります。個人的には起爆剤になると思っていますので、女性活躍に取り組める企業があるのならば、どんどん取り組むべきだと思っています。

**西村さん：**佐藤製作所の佐藤修哉さんにお話を伺いました。ありがとうございました。

**佐藤さん：**ありがとうございます。